

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	地域おこし協力隊事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
-------	------------	-----	---------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	5. 持続可能な村、住民が主体の村／定住人口の増加／集落維持と定住対策
関連する主な計画等	
根拠法	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	地域おこし協力隊員
事業開始年	H23 <input type="checkbox"/> 時期不明
事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	総務省の「地域おこし協力隊」特別交付税事業を導入し、村内の人口減少が著しく、地域おこしの課題を抱える地域について、三大都市圏から若者の定住希望者を募り、阿智村に住み込み地域支援を実施する。
具体的取組	東京での「ターンフェア」に参加し地域おこし協力隊員の募集をについてお知らせし、4名について面接を行った。 地域おこし協力隊員として3年後には地区への定住を目指していただき、それぞれ独自の活動をしていただいています。
実績・効果	浪合、清内路地区内のそれぞれの課題を浮き彫りにし、その中で地域おこし協力隊員として関わることにより重点的に取り組むことができた。 27年度は3名が就任、1名が退任。

歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	報酬費	6,720	共済費	993	旅費	218
需用費	498	燃料代	301	修繕料	216	
通信費	300	住宅使用料	648	会場使用料	89	
公用車購入費	1,728	備品購入	54	重量税	14	

事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	8,844	8,635	11,779	20,950	20,000
うち一般財源	8,844	8,635	11,779	20,950	20,000	
うち補助金						
うち個人負担						
従事職員 (人)	正規職員	1	1	1	1	1
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	地域の活性のため協力隊へのニーズは高い	A
	手段、成果は妥当か	a	意欲ある若者を導入し地域支援ができる	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当	
	村の関与は妥当か	a	総務省の制度であり妥当	
有効性	期待された効果が得られたか	隊員は地域で必要とされており、また協力隊を卒業された方たちも阿智村に住み仕事等されており、地域振興に寄与で来ている	A	
効率性	コストの削減に努めたか	a	余地なし	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	地域おこしの課題を抱える地域に隊員を配置している	
公平性	受益者負担は適切か	無		A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	協力隊員がどのような事業に取り組むのかは、協力隊員の主体性に任されており、今後地域が求める人となれるのか、この地に残っていくための仕事を見出すこと。
今後の取り組み	今後、協力隊を募集するに当たり、地域が必要と思うのはどのような人材なのか伺う。